

中札内村 人口ビジョン 改訂版



概要版

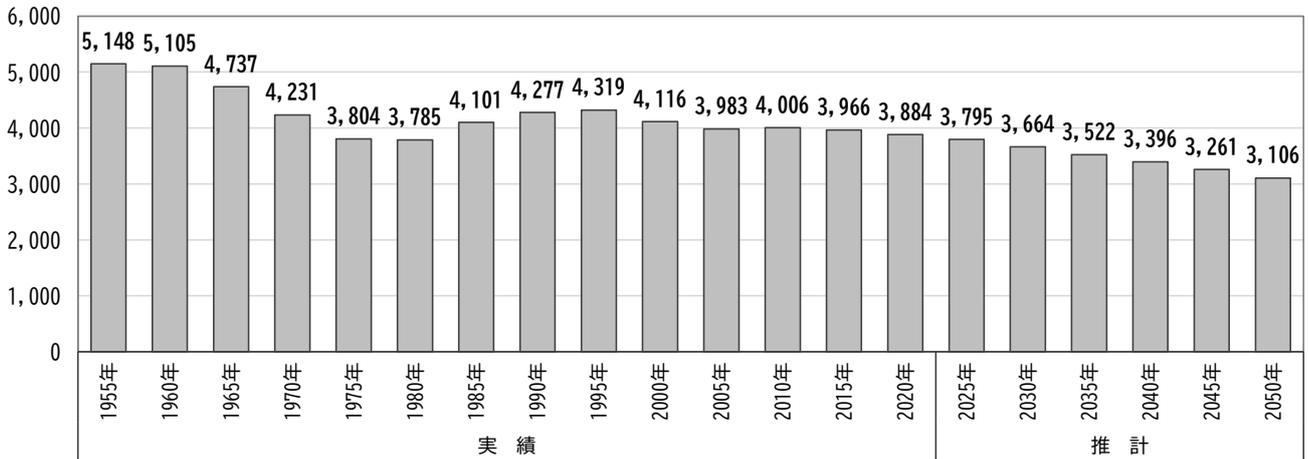
人口の推移

(1) 総人口の推移

中札内村の総人口は1960年まで5,000人台を維持していたものの、1980年にかけて減少し、その後1995年まで増加傾向に転じましたが、以降はほぼ横ばいで推移し、直近の国勢調査年である2020年では3,884人と、少し減少傾向となっています。

社人研(国立社会保障・人口問題研究所)の推計によると、本村の人口は今後も減少を続け、2050年には3,106人程度になると予測されています。

総人口の推移



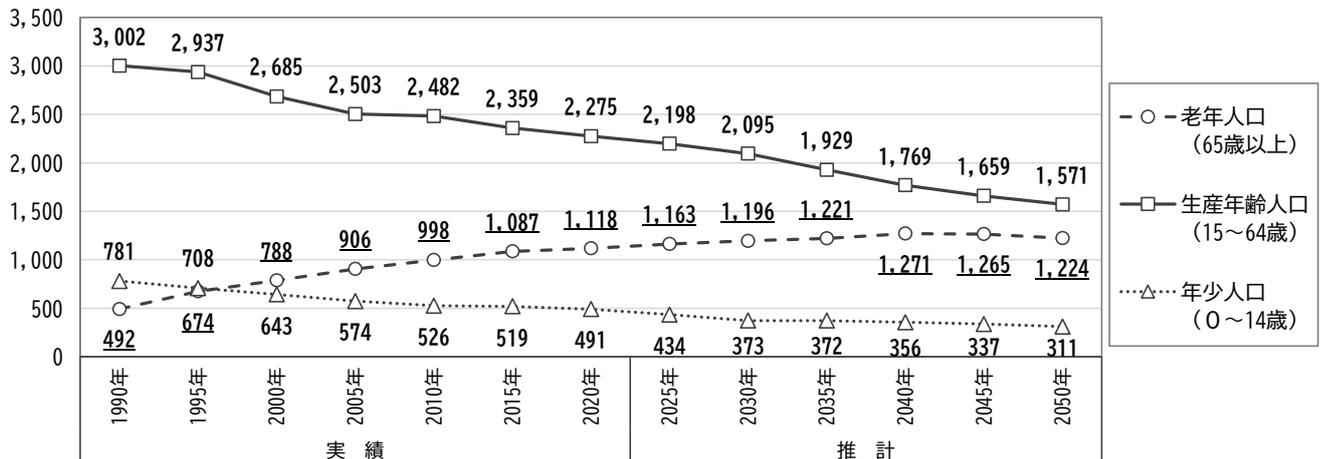
※国勢調査(2025年以降は社人研推計(2023年))

(2) 年齢3区分別人口の推移

1990年からの本村の年齢3区分別人口についてみると、少子高齢化の進行が続いていることがわかります。

社人研の推計によると、今後も少子高齢化の進行は続き、2050年には老年人口比率が39.4%程度となると予測されています。

年齢3区分別人口の推移



※国勢調査(2025年以降は社人研推計(2023年))

※老年人口のデータラベルについて下線

人口の将来展望

(1) 自然動態の展望

国や北海道における合計特殊出生率は減少傾向が続いていることを受け、中札内村における出生に関する将来展望としては、これまでの出生の趨勢を反映した社人研の仮定値を用いて推計を行いました。死亡についても同様に、社人研の仮定値を用います。

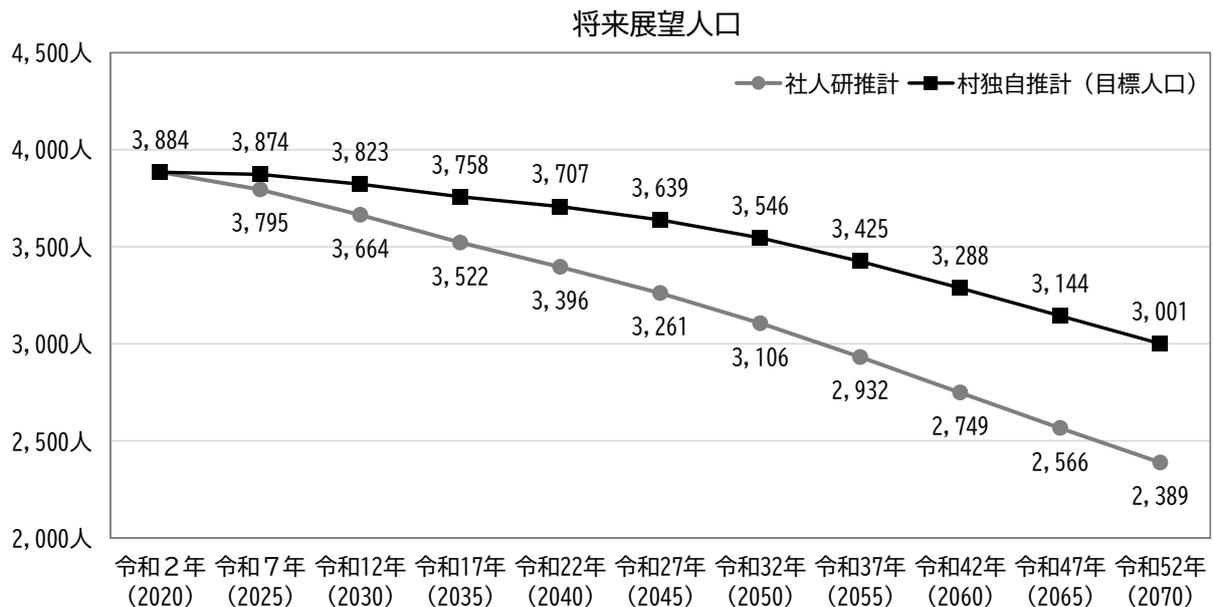
(2) 社会動態の展望

住民基本台帳移動報告において、2019年以降一貫して転入超過となっていることをふまえ、中札内村における移動に関する将来展望としては、社人研推計における仮定値より純移動率が改善するとして見込みます。

そして、少子高齢化の進行の抑制を図るため、出生数の改善や人口構造の安定化に向けた、若年層の移動改善を目指します。

(3) 将来展望人口

本村における目標人口(村独自推計)を下記のように設定し、人口減少の抑制を目指します。



将来展望人口

	令和2年(2020)	令和7年(2025)	令和12年(2030)	令和17年(2035)	令和22年(2040)	令和27年(2045)	令和32年(2050)	令和37年(2055)	令和42年(2060)	令和47年(2065)	令和52年(2070)
社人研推計	3,884	3,795	3,664	3,522	3,396	3,261	3,106	2,932	2,749	2,566	2,389
村独自推計	3,884	3,874	3,823	3,758	3,707	3,639	3,546	3,425	3,288	3,144	3,001
村独自推計 －社人研推計		79	159	236	311	378	440	493	539	578	612